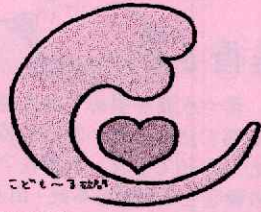
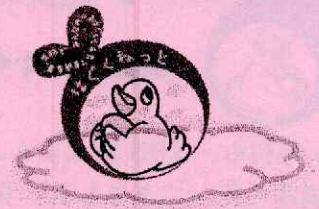




こども〜る鶴間通信【No.203】



- ☆子育て親子の交流つどいの広場の提供
- ☆子育てに関する相談・援助
- ☆地域の子育て関連情報の提供
- ☆講習会



《運営》

認定NPO法人
地域家族しんちゃんハウス

利用対象者 ☆乳幼児：0～3歳児(誕生日から最初の3/31まで)と親(保護者)
☆妊婦さん

《お問い合わせ》
電話：090-3685-2288(こども〜るフォン)
場所：イオンモール大和4F(ライトコート側)

8月の予定

日		月		火		水		木		金		土	
前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半
栄: 栄養士 助: 助産師 看: 看護師 子: 子育てアドバイザー 経: 子育て経験者 保: 保育士		☆こども〜る鶴間のライトはなぜ暗くしてあるかご存じですか? 赤ちゃんの脳活動に最適にしてあるからです。 大人は明るいのが良いかもしれませんが、 赤ちゃんは違います。光の刺激が強かったり多かったですと 興奮してしまうのです。						保・保 保・経		保・保 保・経		保・看 保・経	
4		5		6		7		8		9		10	
保・保 保・経		保・保 保・支		保・教 保・支		保・保 保・経		保・保 保・経		保・教 保・栄		栄・看 保・子	
11		12		13		14		15		16		17	
保・保 保・経		保・経 保・経		保・保 保・支		保・保 保・栄		保・保 保・支		保・保 保・経		保・栄 保・経	
18		19		20		21		22		23		24	
保・保 看・経		保・教 保・経		保・教 保・支		保・保 保・栄		保・保 保・支		保・保 保・経		保・保 保・経	
25		26		27		28		29		30		31	
保・保 看・経		保・保 保・支		保・保 保・経		保・保 保・子		保・保 保・経		保・保 保・経		保・保 保・経	

保健師による育児相談
A(13:35~16:35)
B(14:00~16:00)

保育士による
育児相談
(14:00~16:25)

管理栄養士による
栄養相談
(14:00~17:45)

発育相談
(14:00~17:45)

絵本読み聞かせ
a(10:30~10:45)
b(15:30~15:45)

時間表♪

① 10:15~11:45 ② 11:55~13:25

③ 13:35~15:05 ④ 15:15~16:25

⑤ 16:35~17:45

人数の制限もありません♪
(状況により制限の場合もあります)

世の中に子育てほど尊い仕事はありません。私達の未来を創る事であり、未来の幸せを可能にする仕事だから。



笑顔ではぐくねっと講座の一環として取材に行ってきました。

6月初め、NPO 法人まんまさんの“瀬谷区いきいき区民活動支援事業”の講座に行ってきました。保護者向けの講座で、小さい時からお子さんに伝える性といのちとカラダのお話を講師と一緒に参加者も考えます。

おうちで伝える性といのちとカラダのお話 —幼児期から小学校低学年編—

日本の性教育と世界の性教育とはこんなに差があるのかと感じました。日本は性教育と言うと、月経や精通、思春期の体の変化から妊娠や避妊などを中心に話しているイメージがありますが。国際セクシュアリティ教育ガイダンスでは、まず性教育とは、人間関係であり（友情、愛情、家族、結婚・・・）

また、ウェルビーイング、人権（価値観、文化、セクシュアリティ）、ジェンダー（男らしさ女らしさ、社会で作られてきた性別による違い）、こういったことも性教育には含まれます。これが世界の感覚とみたときに、日本人にこの感覚がある人は何パーセントいるでしょう？

性教育とは自分を大切に、他者も大切にする。包括的なものなのです。文化によってもさまざま。だから、知ること、発信するときのキーワードとして「生物学的には〇〇」と、自分の言いやすいスタイルに変換するなど、自分も相手も構えなくて科学的に捉えられると話しやすくなるかもしれません。

世界の流れは、性教育を包括的性教育といいます。それは、性に関する知識やスキルをこえて、人権やジェンダー観、多様性、幸福を学ぶ事と捉えます。そして5歳からのスタートが推奨されています。「えー」と思うかもしれませんが、人権とおもうと家庭でもできることがたくさんあります。

例えばプライベートゾーンについて。親でも兄弟でも姉妹でも、あなたの体は全部大事、特に水着ゾーンと口。5歳から大切なところは自分で洗う。自分でできるからとNOが言えるように。5歳から自立。これが積み重なることで将来的にじぶんの体の決定権は自分にあることを学んでいきます。

講師が「知ること安全になる。親が性教育に理解を深めることは教育現場の応援になる。」と言っていたことが印象的でした。できることから始めていきたいですね。

講座のなかでは、子どもの「なんで？」になんと答えるか、シミュレーションする場面もありました。

- 1.赤ちゃんはどこから生まれるの？
- 2.赤ちゃんはどうやってお腹に入るの？
- 3.赤ちゃんが出てくるところは？



保護者のあなたは、どう答えますか？

会場では、「サイエンス的に捉えると構えなくて済みそう」「いのちの道という表現は使いやすそう」

「プライベートゾーンはだれにも見せるものではなく、いやだと言う事もできる。それは親でも姉妹でも兄弟でも。」「性のことは全てにおいて、正解なんてないよね。自分の気持ちを伝えられるといいな。」

「コミュニケーションを取りながらスキルアップ。」など様々な声が聞かれました。

講師紹介

鈴木 美香さん



幼い頃から、雲や水滴を眺めては人間を含んだ自然を貫く法則に強い関心も持つちょっと変わった子でした。予備校で物理・数学の教鞭をとりながら不妊・出産・育児体験を通して、人間のもとと持っている力に感動。力学と愛着形成の視点からだっことおんぶの講座をおこなう。Co.core (ココア) 主宰



← 美香先生のInstagram

@suzukimika313

取材/理事長 館合みち子